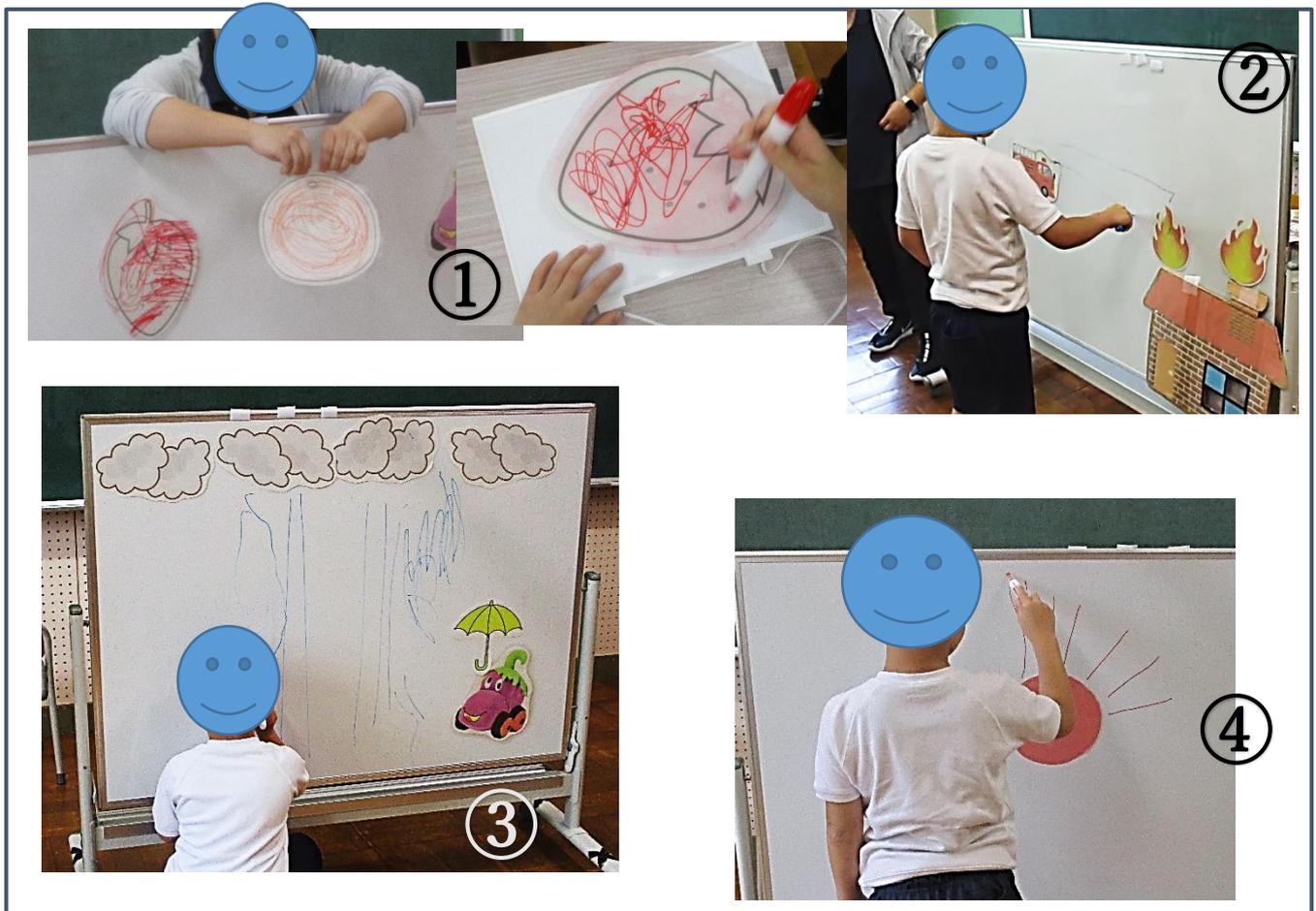


教材紹介カード(小学部1年)



① 教科・領域

こくご☆

② 児童生徒の実態

指先の細かい動きが苦手。なぐり書きができる。線を書くことには興味がある。

③ 使用方法・作り方

単元「かいてみよう」 ホワイトボードペンを使い、始めに指導者が手本を見せる。

写真①『なすくん(キャラクター)のお腹が空いたから食べ物をあげよう。』

塗り絵・・・ラミネートをしたものをホワイトボードペンで塗る。

写真②『なすくんが散歩していたら消防車が、火を消していたよ。』

直線を書く。・・・消防車から火に向かって横に線を書く。

写真③『なすくんが散歩をしていたら、雨が降ってきた。』

雲から雨が降っているように、直線を書く。

写真④『雨がやんで、太陽が出てきたよ。』

赤い円の周りに放射状に線を書く。

教材紹介カード(小学部1年)



写真①



写真②

① 教科・領域

図工☆

② 児童生徒の実態

シールを貼ったり、紙をちぎったり、握ったりできる。

③ 使用方法・作り方

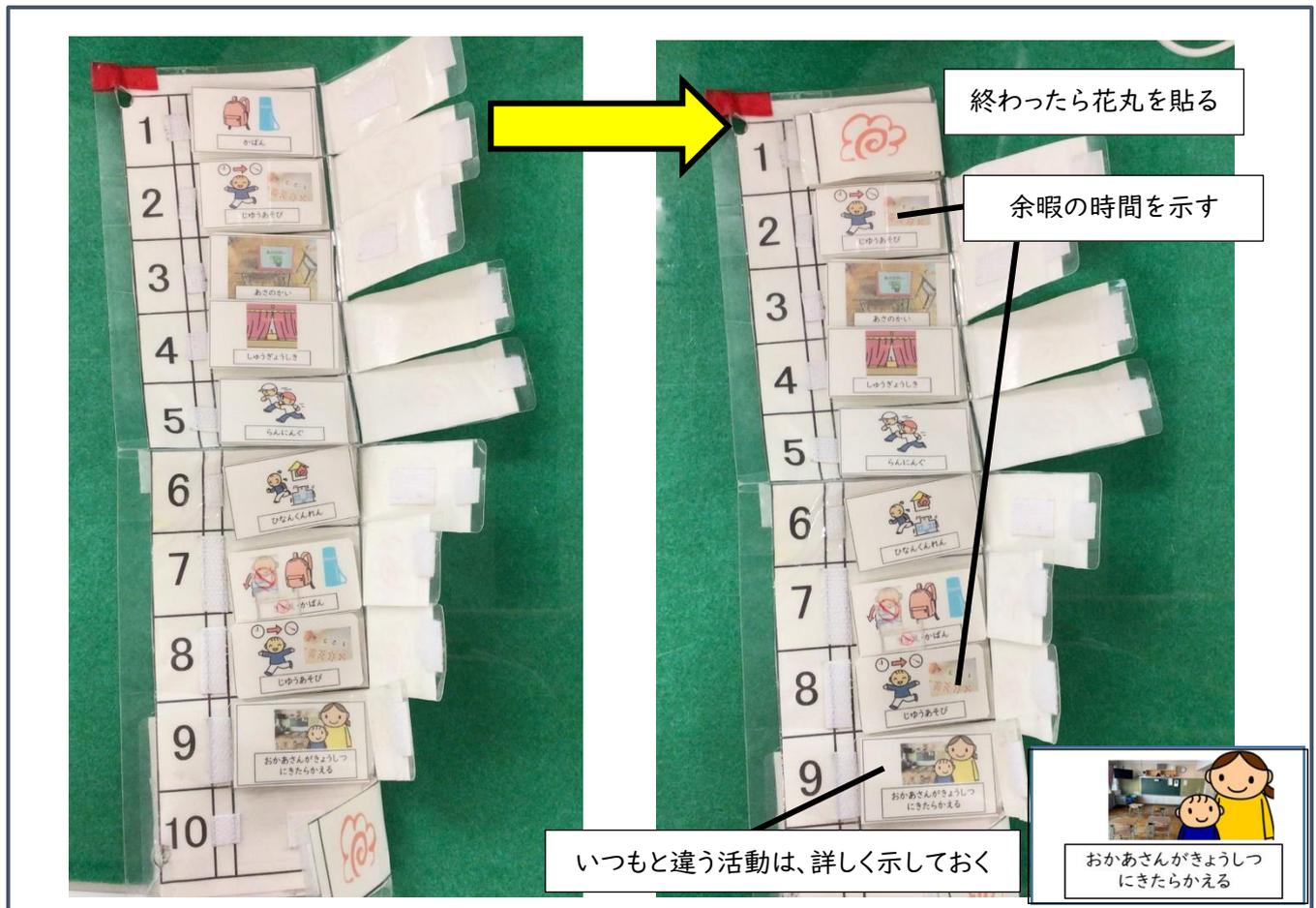
写真① こいのぼり
お花紙をちぎったり、丸めたりして、ビニル袋に入れる。

写真② てんとうむし
羽根にシールを貼る。

写真①、②ともに iPad のアプリ『CapCut』を使って、作品の作り方児童に提示することにより、児童が注目することができる。

iPad で作り方をご覧ください。

教材紹介カード(小学部2年)



① 教科・領域

生活「1日の予定を確認しよう」

② 児童生徒の実態

新しい活動に不安を感じる。日課に合わせて行動することに困難さがある。ひらがなや写真・絵などの視覚情報が入りやすい。数字の順序が分かる。

③ 使用方法・作り方

【使用方法】

- 朝の登校後に一緒に予定を確認する。
- 本人が見たい時に確認できるよう、職員が持ち歩いている。
- 予定に慣れるまでは、1つずつ確認し、活動が終わったところで花丸を貼っていた。
→今ではいつもと違う日課の時は必ず確認し、通常は本人が確認したいときのみ使用している。
- 予定表を確認しながら本人の不安などの気持ちを言語化できればと思っている。クラスで相談しながら変更可能であれば(過ごす場所や着替えの順番など)変更することもある。

【作り方】

- 台紙に予定のカードを貼った。
- 台紙は一つの予定が終わったことが分かるよう、マジックテープを付けて花丸のイラストを貼れるようにした。

教材紹介カード(小学部3年)



① 教科・領域

自立活動「気持ちを伝えよう」

② 児童生徒の実態

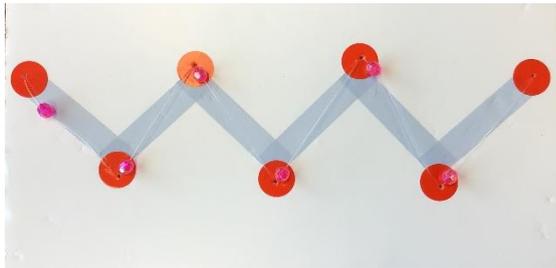
気持ちを言葉で伝えることが難しい児童

③ 使用方法・作り方

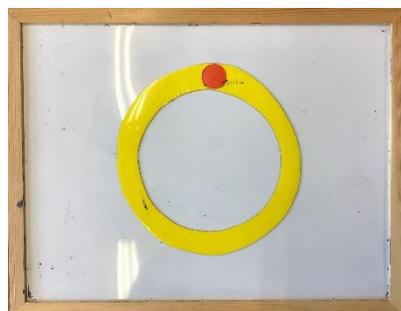
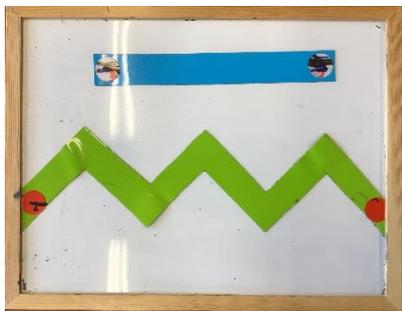
- ①実態に合わせて気持ちカードを作成し、いつでも活用できるよう黒板や壁面に掲示する。
- ②廊下に出たいときや嫌な気持ちになったときに、気持ちカードを手掛かりにして指導者に気持ちを伝えられるようにする。

教材紹介カード(小学部4年)

<ビーズボード>



<マグネットなぞり書き>



① 教科・領域

国語「かいてみよう」

② 児童生徒の実態

注視し続けることが難しかったり、書くときの手の動きが分からなかったりする児童。

③ 使用方法・作り方

マグネットなぞり書き

使用方法シールの上(始点)にペンをのせ、マグネットの凸凹から落ちないように終点に向かって書く。

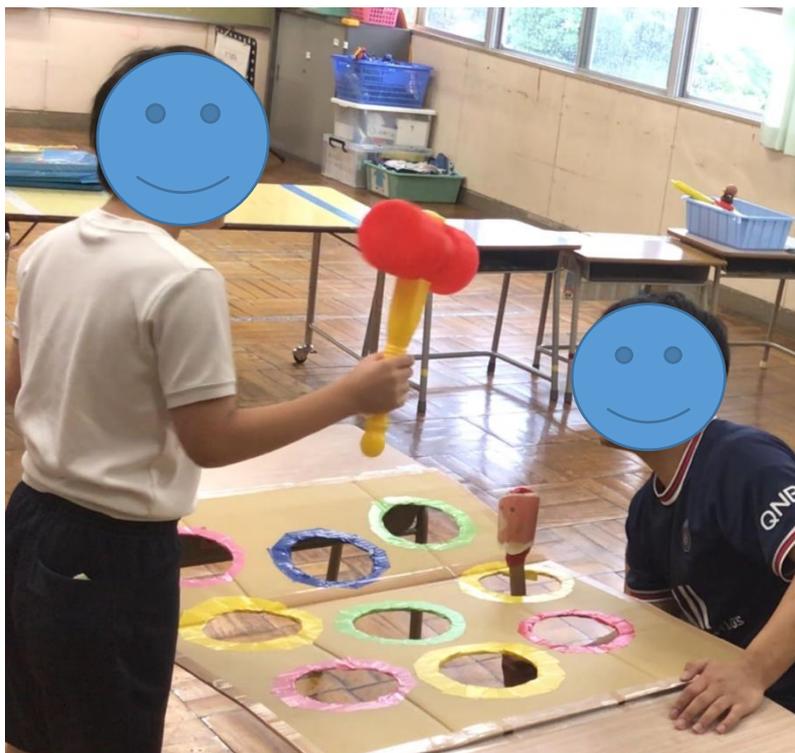
つくり方100均のマグネットシートを直線・曲線など児童の実態に合わせて、切る。100均のホワイトボードに貼る。

ビーズボード

使用方法ビーズの上(始点)に人差し指をのせて終点に向けて指を動かす。

つくり方PPボードをちょうどよい長さで切り取り、テグスとビーズを通す。

教材紹介カード(小学部5年)



① 教科・領域

自立活動

② 児童生徒の実態

目と手の協応が難しい児童や手や腕に力を加えることが難しい児童。

③ 使用方法・作り方

〈使用方法〉

穴から出てきたモグラをハンマーでたたく。

〈作り方〉

①段ボールに12cm程度の穴を開ける。

②ラップの芯の先に新聞紙を丸めたものを付け、モグラのイラストをブックカバーフィルムで新聞紙の部分の全体を覆うように貼る。

教材紹介カード(小学部6年)



実際は児童の写っている写真を使用
して、入れ替えが可能。

主語、目的語、述語それぞれの選択肢
から1つずつ選び、三語文をつくること
ができる。

誰 が 何 を している

① 教科・領域

国語☆☆☆「ぶんをかこう(つくろう)」

② 児童生徒の実態

友達の名前や、日常生活で使う物の名前がわかる。簡単なひらがなを指導者と一緒に読むことができる。指導者と一緒に確認することで、複数の選択肢から一つ選ぶことができる。

③ 使用方法・作り方

・学年の友達が活動しているわかりやすい写真を選び、三語文の選択肢をつくる。**主語**・**目的語**・**述語**の色をそれぞれ変えて作成する。

・選んだ、主語・目的語・述語の貼り場所が明確になるように、それぞれ色を合わせた選択肢を貼る場所をつくる。

使用方法

・それぞれの選択肢から選んで三語文をつくり、指導者と一緒に声に出して読む。

教材紹介カード(小学部さくら組)



① 教科・領域

自立活動(手指の運動)

② 児童生徒の実態

「つまむ」「手元を見る」「机で課題に取り組む」ことを身に付けたい児童向け

③ 使用方法・作り方

材料

- ① 洗濯ばさみ フェルト 植木ばち置き トレイ
- ② 保存容器 ペグ トレイ
- ③ 紙粘土 絵の具 トレイ トング 箸
- ④ 小分け容器 フェルトの玉 トレイ ピンセット 箸